

1 教育目標

日本国憲法及び教育基本法の精神、栃木県及び宇都宮市の教育目標、そして児童の実態や社会・地域の要請を受け、人間尊重の教育を基盤とした本校の教育目標を次のように設定する。

(1) 基本目標

心身ともに健康で創造性に富み、心豊かで実践力のある児童を育成する。

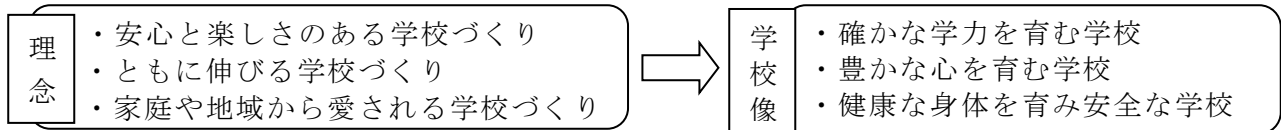
【自分に自信をもてる子を育てます】

(2) 具体目標（具体的な児童生徒像など）

- ・自ら学び、ねばり強く努力する児童（楽しく学ぶ子）
- ・思いやりをもち、助け合う児童（仲よく助け合う子）
- ・健康と安全に留意し、元気に活動する児童（元気に活動する子）

2 学校経営の理念

陽南小学校のよき伝統と校風を引き継ぎ、すべての教職員の力を結集するとともに学校内外の物的・人的資源を最大限に生かし、児童一人一人の確かな成長を図る学校づくりを進める。その理念と目指す学校像を次のように設定し、教育活動の充実につなげる。



3 学校経営の方針

全職員が信頼と和を基盤とした協働体制のもと、教育目標や学校のあるべき姿の具現化を目指し、次の7つの方針をもとに学校経営にあたる。

- (1) すべての児童の人権を大切に、児童が教育活動の中で自分のよさや個性を発揮し自己肯定感や自己有用感を感じることが出来る学校づくりに努める。
- (2) 小中一貫としての義務教育9年間を通した系統的な指導を通して、確かな学力の向上を目指し、基礎・基本の確実な定着と「楽しく・わかる・できる授業」づくりに努める。
- (3) 自他の生命を尊重し、児童一人一人が生き生きと安心して学校生活を送る中で、児童が自ら健康や体力等の増進に取り組む学校づくりに努める。
- (4) 学校課題研修や教師の自己研鑽に基づいた校内研修を充実させ、教職員個々の指導力及び資質の向上を図るとともに、一人一人の能力や特性を生かしながら、児童とともに伸びる学校づくりに努める。
- (5) 「地域の学校」として学校・家庭・地域社会が互いに連携し、信頼関係を深めながら地域の教育力を高めるとともに、陽南地域学校園および小中一貫教育の積極的な取組により学校力の向上を図る。
- (6) 学校・家庭・地域社会が一体となり教育活動の充実を図るとともに、積極的に情報を発信する開かれた学校づくりに努める。
- (7) 働き方改革を意識した教職員の労働時間の把握と勤務内容の適正化・効率化を進める。

【陽南地域学校園教育ビジョン】

地域に根ざした豊かな心を育む小中一貫教育 ～子どもの主体的な活動を通して～

4 教育課程編成の方針

- ・学校教育目標の具現化を図るため、本校の実情、児童の心身の発達段階や特性、地域社会の要望、保護者の願い、さらには小中一貫教育の実施を受けて、知・徳・体の調和のとれた、人間力を育む教育の推進を図ることが出来るよう編成する。
- ・「生きる力」を育むために創意と工夫を加え、学校教育全体並びに各教科、道徳科、外国語活動総合的な学習の時間及び特別活動等の関連を図り、調和と統一の取れた教育課程を編成する。

5 今年度の重点目標

(1) 学校運営

- ・学校経営のビジョンを教職員で共通理解し、協働して取り組む体制づくりを進める。
 - ・学校と家庭・地域の双方向的な関係を築き、学校内外の教育的資源の有効活用を図る。
- 陽南地域学校園および小中一貫教育の積極的な取組により学校力の向上を図る。

(2) 学習指導

- 「本を通して、自分の思いを豊かに表現し、主体的に学ぶ児童を育てる学校図書館教育」
- ・授業改善を進め、一人一人が「楽しく・わかる・できる」授業を行うことで、基礎・基本を確実に習得させ、それらを活用する力を育成する。
 - ・一人一人の児童が安心感をもって自己表現ができ、互いのよさを認め合える集団をつくることにより、自分のよさを発揮して生き生きと学び合うことが出来る児童の育成を図る。
 - ・家庭や地域との連携を図り、一体となって児童の学力向上に努める。

(3) 児童生徒指導

- 「基本的生活習慣を身に付け、場に応じて適切に判断し、自主的に行動できる児童の育成」
～ルールやマナーを守り、校内の安全を意識した行動ができる児童をめざして～

(4) 健康（保健安全・食育）・体力

- 「自ら進んで心と体の健康づくりに取り組む児童の育成」
～自分の力に合った目標をもち、日常的に運動に親しむ児童・
及び自分の体に関心をもち、自ら健康で安全な生活ができる児童をめざして

6 特色ある学校づくり等に関する取組

(1) 育てたい資質・能力と具体的取組例

「人とふれ合い、本とふれ合い、自然とふれ合う、潤いのある学校」を目指して	
◇人とのふれ合い	・地域の様々な世代や様々な立場の方々、学校支援ボランティアの方々との交流を通し、相手を思いやる心・助け合う心・感謝の心を養い、自然に挨拶ができる子を育成する。（学校支援ボランティア感謝の会・地域の方々との交流・ふれあい給食等） ・異学年がふれ合う縦割り班活動を通し、自他の個性を尊重し協力してよりよい生活を築く態度を養う。（全校児童集会・共遊タイム・にっこり班活動等）
◇本とのふれ合い	・読み聞かせや読書活動（家読も含む）を通して多くの本と出会い、読書の楽しさを実感し、豊かな心・たくましく生きる力を培う。 （読書ボランティアによる読み聞かせ・家読の推進等）
◇自然とのふれ合い	・陽南の自然環境を生かした学習や学校農園・教材園等の栽培活動・動物の飼育活動を通し、動植物の命に対する畏敬の念と自然を愛する豊かな心情・愛校心を育成する。（農業体験活動・飼育動物の世話・親子奉仕作業・子どもボランティア活動等）

7 本市の重点施策・事業と関連する取組

(1) 「地域とともにある学校づくり」に関する取組

①基本的な考え

「地域の学校」として学校・家庭・地域社会が互いに連携し、信頼関係を深めながら地域の教育力を高める。

- ②主な取組 ○魅力ある学校づくり地域協議会活動の充実 ○地域ボランティアとの連携
○学校支援ボランティアとの連携

(2) 「小中一貫教育・地域学校園」に関する取組

①基本的な考え

陽南地域学校園および小中一貫教育の積極的な取組により学校力の向上を図る。

②主な取組

小中一貫教育では
・中学校からの乗り入れ授業の推進（英語・家庭） ・小中一貫教育カリキュラムの充実
陽南地域学校園では
・学力向上部会：9年間を見通したコミュニケーション能力の育成 基本的学習習慣「聞くこと」の一貫性をもった指導、家庭学習の推進
・学校生活適応支援部会：安心して学校生活を送れるようにするための環境整備 児童生徒指導強化連絡会・不登校対策協議会の充実、小学校6年児童の中学校訪問
・体力増強分科会：自ら進んで体力を高めようとする児童・生徒の育成（持久力向上に向けて）
・保健分科会：自主的に健康生活を考えられる児童・生徒の育成
・食育分科会：望ましい食生活を自己管理しようとする児童・生徒の育成
・特別支援部会：特別支援学級児童生徒の9年間を見通した身辺自立の指導
・交流促進部会：豊かな心を育む学校図書館交流～小中合同あいさつ運動・乗り入れ授業等～

(3) 不登校対策

①基本的な考え

- ・一人一人の児童の人格を尊重し、個性の伸長を図りながら教育的愛情と粘り強い実践により、不登校を出さない教育的環境の醸成に努める。

②主な取組

- ・一人一人の児童が個および集団生活において、常に自ら考えたよりよい判断のもと、現在の生活に適応し、個性の伸長を図るとともに日々の生活の中で自己実現を図る能力・態度を育成する。
- ・きめ細かな観察と各種調査に基づき、一人一人の児童理解に努めるとともに、継続的に指導する。
- ・課題のある児童に対しては、教職員の共通理解のもと、意図的・積極的に声掛けを行い心の触れ合い、通い合いを図ることで問題の早期解決に努める。